

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	血液培養陽性患者および抗MRSA薬使用患者への薬剤師の早期介入の取り組み
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対 象：血液培養検査でグラム陽性球菌が陽性となった入院患者 バンコマイシン塩酸塩注が投与された入院患者</p> <p>期 間：2022年4月～2024年3月</p>
③概要	<p>当院ではMRSAに有効なバンコマイシンを投与する際、薬剤師が初回投与量設計や血中濃度測定およびその解析を行っている。しかし、その投与はMRSAが同定されてからの投与がほとんどであり、血液培養からMRSAが想定されるグラム陽性球菌が検出された時点で早期に処方提案ができていない状況にあった。一方、バンコマイシンをはじめとする抗MRSA薬について早期の有効血中濃度の到達が予後に影響することが報告されている。しかしながら、投与量に関する薬剤師の介入は医師の処方があるからの処方支援となっており、早期に十分量が投与されずに有効血中濃度に到達していない例が散見されていた。</p> <p>そこで今回、薬剤師による血液培養陽性患者の早期把握とバンコマイシンの早期処方支援を実施することとし、その取り組みの効果について検討する。</p>
④申請番号	(倫理委員会申請時の受付番号。未採番の場合は空欄。)
⑤研究の目的・意義	薬剤師による血液培養陽性患者の早期把握とバンコマイシンの早期処方支援の有効性の検討
⑥研究期間	2022年4月～2024年3月
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	知り得た情報は電子媒体で保存し、本研究のみに使用する。また、他施設への提供はなく、院内のみの利用とする。
⑧利用または提供する情報の項目	血液培養検出菌、有効な抗菌薬が投与されるまでの日数、心エコー実施有無、デバイス(血管カテーテルや人工弁、インプラントなど)有無、血培陰性化の確認有無、バンコマイシン投与量および投与期間、TDMソフト(PAT)使用有無、24-48hrAUC値、定常状態AUC値、血中濃度測定値、30日死亡率
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院薬剤部内
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院薬剤部 佐藤宏 0258-35-3700
⑪お問い合わせ先(照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先)	長岡中央総合病院薬剤部 細川浩輝 0258-35-3700